

総勢400人が未来へ贈る歡喜の歌

# 第九

ベートーヴェン  
交響曲第9番二短調  
Op.125「合唱付」



指揮  
秋山和慶

横須賀芸術劇場合唱団定期演奏会 vol.40

2013.12/1 [日] 15:00開演

S席:1,500円 A席:1,000円 9/28(土)発売

よこすか芸術劇場

京急汐入駅前/JR横須賀駅徒歩8分



ソプラノ  
鈴木慶江



アルト  
下園理恵



テノール  
澤崎一了



バリトン  
村林徹也

※未就学児童の入場はご遠慮ください。  
※託児サービスあり。(定員有。11月28日(木)までの事前予約制)  
お申し込み:長谷川キャリアサポート 045-321-1388(月~金 9時~18時)

横須賀芸術劇場

電話予約センター **046-823-9999**  
(劇場友の会専用ダイヤル 046-823-7999)

インターネット <http://www.yokosuka-arts.or.jp>  
※受付は発売初日18:00より

窓口販売 横須賀中央駅西口モアーズシティ1階/モアーズストリート  
芸術劇場1階/サービスセンター内

主催:公益財団法人横須賀芸術文化財団

共催:横須賀市

協賛:京浜急行電鉄株式会社

協力:横須賀交響楽団/防衛大学校音楽部



管弦楽  
横須賀交響楽団

合唱  
横須賀芸術劇場合唱団  
防衛大学校音楽部

合唱指揮  
梅沢一彦

あんしんを羽ばたく力に——京急グループ



みさきまぐる  
きっぷ

電車&バス  
乗車券  
+  
みさきまぐるきっぷ限定  
選べる  
まぐろ食事券  
+  
選べる  
レジャー施設利用券

■京急線往路乗車券(ゆき)  
■京急線復路乗車券(かえり)  
■京浜急行バスフリー区間乗車券

京急が厳選した、「まぐろの美味しい店」20店舗の中から、  
みさきまぐるきっぷ限定メニュー一つをお選びいただけます。

京急油壺マリンパーク入園、水中観光船にのりさかな号乗船、  
城ヶ島京急ホテル日帰り入浴、ホテル京急油壺観潮荘日帰り入浴、  
マホロバ・マインズ三浦日帰り入浴のうち1つをお選びいただけます。

主要駅からの発売額(大人の場合)

品川から	→ 2,980円	京急蒲田から	→ 2,980円
京急川崎から	→ 2,980円	横浜から	→ 2,880円
上大岡から	→ 2,780円	金沢文庫から	→ 2,780円

■発売駅▶京急線各駅(泉岳寺駅、三崎口駅を除く)  
■有効期間▶1日

KEIKYU  
京急電鉄

京急ご案内センター 03-5789-8686 または 045-441-0999 (平日7:30~21:00 土日祝9:00~17:00)

くわしくはホームページでどうぞ <http://www.keikyu.co.jp> 京急

## 秋山和慶 (指揮) Kazuyoshi Akiyama (Conductor)

1941年生まれ。64年に東京交響楽団を指揮してデビューののち40年にわたり同団の音楽監督・常任指揮者を務め、日本のオーケストラはもとより、サンフランシスコ交響楽団、ロサンゼルス・フィルハーモニック、フィラデルフィア管弦楽団、ニューヨーク・フィルハーモニック、ボストン交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニー、ハンブルク北ドイツ放送交響楽団、ケルン放送交響楽団、スイス・ロマン管弦楽団などに客演し、卓抜したバトンテクニックで指揮、いずれも高い評価を得ている。これまでにサントリー音楽賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞、芸術選奨文部大臣賞、東京交響楽団とともに毎日芸術賞、京都音楽賞大賞、モービル音楽賞などを受賞。ほかに紫綬褒章、旭日小綬章を受章。現在、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団音楽監督・常任指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団アーティストック・ディレクター／プリンシパル・コンダクター、バンクーバー交響楽団桂冠指揮者を務めている。

## 鈴木慶江 (ソプラノ) Norie Suzuki (Soprano)

横須賀市出身。浦賀小学校、浦賀中学校、県立横須賀大津高校を経て、東京藝術大学及び同大学院オペラ科修了。第29回イタリア声楽コンクール第1位ミラノ大賞受賞によりイタリアのニコリーニ国立音楽院に推薦留学。第31回ベッリーニ国際声楽コンクールで最高位受賞。2002年、NHK「紅白歌合戦」『ニューイヤー・オペラ・コンサート』に出演。温かな歌声、華やかな舞台姿を印象づけ、以降オペラ、オーケストラとの共演、リサイタル、放送出演など充実した活動を行う。東日本大震災復興支援チャリティ公演にも、天皇皇后両陛下がご臨席された2011年5月など精力的に出演。3月8日の「国際女性の日」に合わせ、06年から毎年3月には「ミモザの日」コンサートを開催。13年で8回目を迎えたこのコンサートは、今では東京の春の恒例公演となっている。EMI Music JapanよりCD5作をリリース。2006年より横須賀大使。

## 澤崎一了 (テノール) Kazuaki Sawasaki (Tenor)

国立音楽大学声楽学科卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第27期修了。第30回ソレイユ音楽コンクールにて第二位、及び優秀賞受賞。声楽を角田和弘、柴山昌宣、村林徹也の各氏に師事。これまでに、『トスカ』、『リゴレット』、『椿姫』、『連隊の娘』、『愛の妙薬』、『蝶々夫人』、『コジ・ファン・トゥッテ』、『秘密の結婚』、『こうもり』、『夕鶴』等、様々なオペラに主要な役にて出演。また宗教曲・第九等のソリストとしても高い評価を得る。天皇陛下御即位二十年奉祝曲「太陽の光」を歌うなど多数コンサートにも出演。今後の活躍が期待される若手テノール。立教池袋中学・高等学校講師。藤原歌劇団準団員。

## 横須賀交響楽団 (管弦楽)

Yokosuka Symphony Orchestra (Orchestra)

1956年、湘南交響楽団として創立、同年11月第1回定期演奏会を開催。65年、横須賀交響楽団と改称。活動は、年2回の定期演奏会を中心に、障害者向けの「たのしい音楽会」などを開催。カジュアル・コンサート、組曲「横須賀」演奏会、「アメリカン・サウンド・イン・ヨコスカ」、「第九」演奏会への出演のほか、市民音楽のつどいにも参加するなど年間9～10回の演奏会を精力的に行っている。72年、中国中央楽団創作のピアノ協奏曲「黄河」の日本人初演。88年、とうきょうエキコンにアマチュア初出演。91年、第40回神奈川文化賞を受賞。06年、創立50周年を迎えた。また、08年3月にはマスカーニ「カヴァレリア・ルスティカーナ」(指揮:北原幸男)を横須賀芸術劇場合唱団と共演し、初めてのオペラ全曲公演に成功、大好評を博した。現在団員は150名を超え、市民とともに歩む県下でも有数のアマチュア交響楽団としてその活動が目ざされている。

## 下園理恵 (アルト) Rie Shimozono (Alto)

横須賀市出身。国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業。二期会オペラ研修所第48期マスタークラス修了。修了時に優秀賞受賞。〈神奈川県新人演奏会〉〈二期会新進声楽家の夕べ〉など演奏会に多数出演のほか、アンサンブル・グループ〈二期会マイスターズ・ジンガー〉の活動も行う。オペラはこれまでに『カヴァレリア・ルスティカーナ』サントゥツァ、『カルメン』タイトルロール、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ等に出演。11年4月の二期会創立60周年記念公演『フィガロの結婚』(宮本亜門演出)ケルビーノで二期会オペラデビューを果たした。二期会会員。

## 村林徹也 (バリトン) Tetsuya Murabayashi (Baritone)

国立音楽大学声楽科卒業。二期会オペラスタジオマスタークラス修了。これまでにモーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」をはじめ、J.S.バッハ、プッチーニ、フォーレ、オルフ等の宗教曲・合唱曲の独唱を行う。オペラではモンテヴェルディ「ポッペアの戴冠」、パーセル「デイドとエネアス」等のバロック作品からモーツァルト「フィガロの結婚」「ドン・ジョバンニ」、ドニゼッティ「ドン・パスクアレ」「愛の妙薬」、ヴェルディ「椿姫」「ドン・カルロ」、プッチーニ「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」「ジャンニ・スキッキ」「トゥーランドット」、R.シュトラウス「ダフネ」などオペラを中心に幅広く活動。邦人作品においても「太陽の林檎」「不思議の国のアリス」「あさくさ天使」などの初演に参加。横須賀芸術劇場においては宮本亜門演出「フィガロの結婚」、第九演奏会等に出演。二期会会員。

## 横須賀芸術劇場合唱団 (合唱)

Yokosuka Arts Theatre Chorus (Chorus)

劇場専属のアマチュア合唱団として、1995年9月創立。96年にモーツァルト「レクイエム」(指揮:大友直人 東京交響楽団)でプロオーケストラと初共演し、以降毎年12月にベートーヴェン「第九」を演奏するほか、年1～2回の定期演奏会において、合唱曲やオペラコーラスなど、多くの楽曲を披露している。2008年からは「美しき日本の歌」と題し、オリジナル編曲による歌い継ぐべき日本の楽曲の演奏にも取り組んでいる。また、歌唱だけでなく演技にも力を入れて活動しており、同年3月には、マスカーニ「カヴァレリア・ルスティカーナ」で、初めてオーケストラとのオペラ公演に成功した(指揮:北原幸男 横須賀交響楽団)。09年7月には劇場開館15周年記念演奏会にて、ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」を演奏し好評を博す(指揮:小松一彦 神奈川フィルハーモニー管弦楽団)。現在、10代から80代の293名が在籍。指揮者には梅沢一彦を迎え、音楽スタッフとして、村林徹也、石倉孝行、澤崎一了、松本康子、川元真里、松元博志、高田恵子、河野絃子が指導にあっている。